

お手渡し容器・御放流容器等



お手渡し容器や御放流容器、御放流台は「豊かな海は豊かな森が育む」ことをコンセプトに製作しました。本県は、県土の7割を森林が占めており、この豊かで美しい森で育まれた清流が、河川となり大地を潤し、日本海に注がれ、本県の豊かな海を形成しています。

これらの容器等には、

豊かな森の恵みが稚魚を守り、そして大海に放流することを象徴し、

次世代への豊かな海の継承を願う気持ち

が込められています。

□ お手渡し容器

この容器は、「大館曲げわっぱ」の技術を活用し、天然秋田杉を使って製作しました。



大館曲げわっぱは全国の数ある曲げ物のうち、国が指定した唯一の伝統工芸品であり、また秋田杉は、日本三大美林の一つで、「県の木」に定められている本県を代表する木材です。



お手渡し魚種等：ハタハタ/エゾアワビ/ワカメ/サクラマス

□ 御放流容器

この容器は、持ち手、底面、側面を、「アケビ蔓細工」と「クルミ樹皮細工」の技術を用いて装飾しました。



アケビ蔓やクルミ樹皮は本県の里山に多く自生している植物。採取した時の気候や場所により、素材の表情が異なることが魅力のひとつ。容器は、こうした素材を一つひとつ手編みで装飾した一点物です。透明な蓋を付設し、稚魚がよく見えるようにしています。



放流魚：
マダイ/トラフグ

本県の御放流台が宮城県へ

本県で製作した御放流台が、次期開催県である宮城県に引き継がれることになりました。

御放流台は、次世代への豊かな海の承継を願う気持ちを込め、本県が誇る木材加工技術を随所に活用し完成させました。

しかしながら、台風の影響で、天皇皇后両陛下に御放流いただくことが叶いませんでした。

同じ東北で開催される宮城大会で、本県の思いも込めた御放流が実現することを心よりお祈りいたします。

